

Corporate Sustainability Report

福井鋳螺株式会社 サステナビリティレポート 2022



FUKUI BYORA
METAL PARTS INNOVATOR

福井鋌螺株式会社は、
SDGsの目標達成に貢献することを
宣言します。

福井鋌螺のSDGs達成に向けた取組みの一環として、「自家消費型」の太陽光発電設備を2021年3月に細呂木事業所第1棟、2022年2月に加賀工場に設置、運用しています。2拠点で年間約700tのCO₂削減を実現します。



加賀工場
(石川県加賀市)



細呂木事業所
(福井県あわら市)

SDGsとは

SDGs（エスディージーズ：Sustainable Development Goals 持続可能な開発目標）とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標（MDGs）の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された国際目標です。2030年までに持続可能なより良き世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人として取り残さない」ことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むべきユニバーサル（普遍的）目標として、日本国内でも積極的な取組みが進められています。

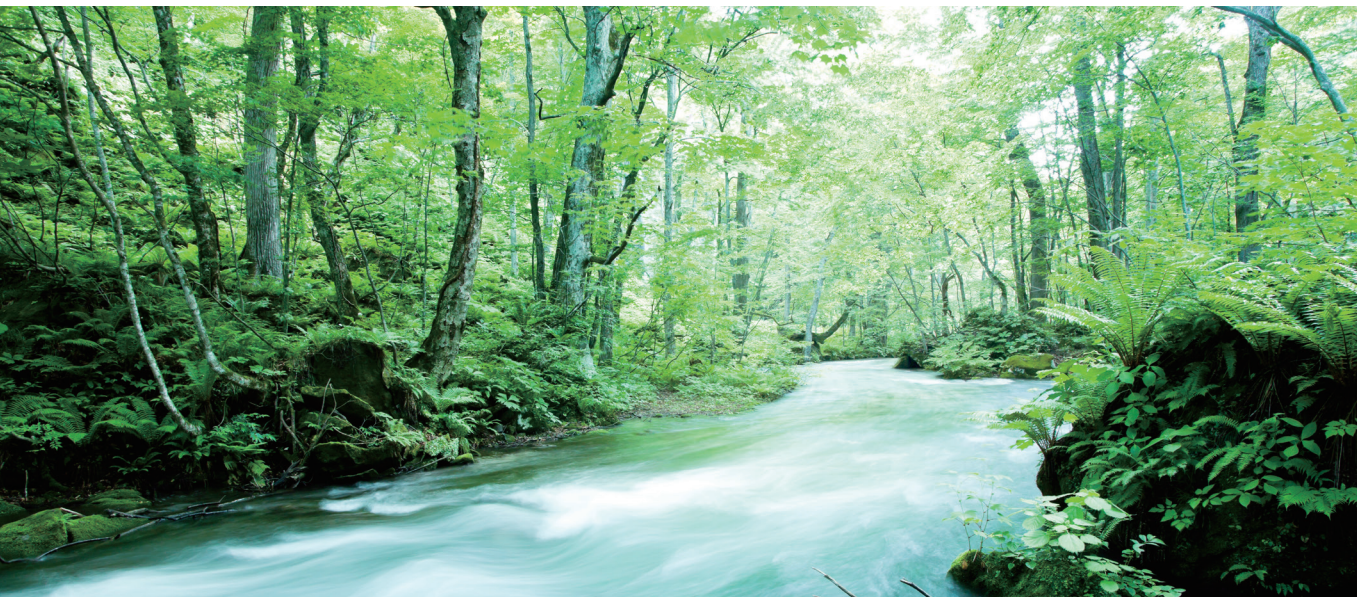
福井鋌螺のSDGsへのアプローチ

福井鋌螺株式会社は、創業から60年以上にわたってお客様と共に歩み続けてきました。その福井鋌螺の技術は、さまざまな業界のお客様からいただいた数多くのご要望によって育てられ、磨き上げられてきました。これからも福井鋌螺は、「冷間鍛造技術」をコアテクノロジーとして、お客様が抱えるニーズの実現を目指して挑戦を続けることによって、多岐にわたる分野でのSDGsの達成に貢献してまいります。



SDGs 目標達成に向けた具体的取組みについて

環境に優しい冷間鍛造技術

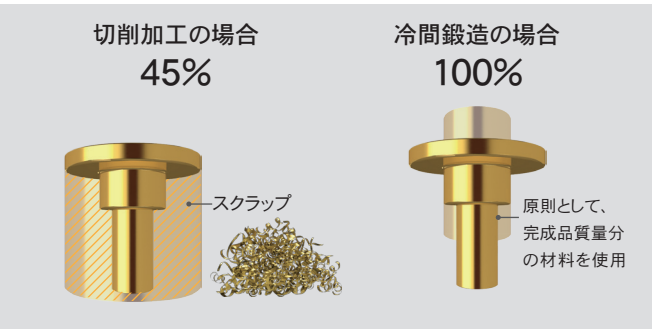
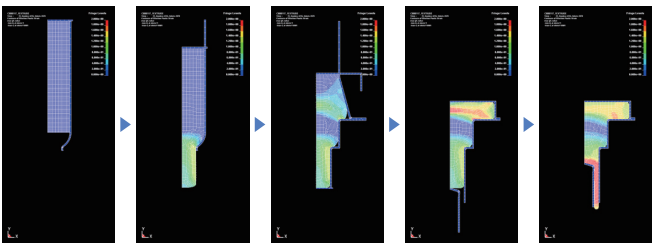


福井鋌螺の基幹技術である冷間鍛造技術は、常温（室温）環境下で金属に圧力を加え、変形させながら高速加工を行う技術です。

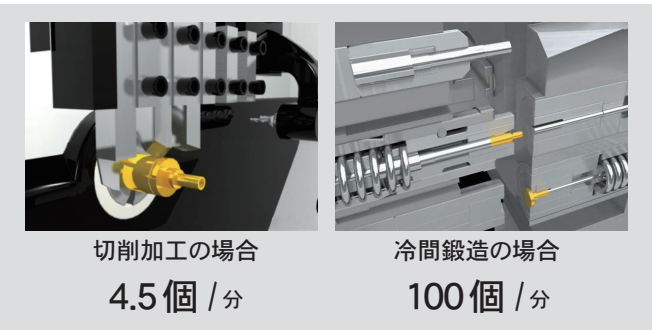
金属を削らずに加工を行う冷間鍛造技術は、材料の利用効率が高く、製造途中に材料のロス（削り屑等の金属廃棄物）がほとんど発生しません。

このような特長から冷間鍛造技術は、「環境に優しく、合理化に強い」加工技術と呼ばれています。

福井鋌螺では、冷間鍛造技術の特長を最大限活かした新製品開発を行うことにより、材料の有効利用や高速生産化を推し進め、事業活動を通して世界的規模での「CO₂ 排出量削減」に貢献していくことを目指しています。



材料利用効率の比較



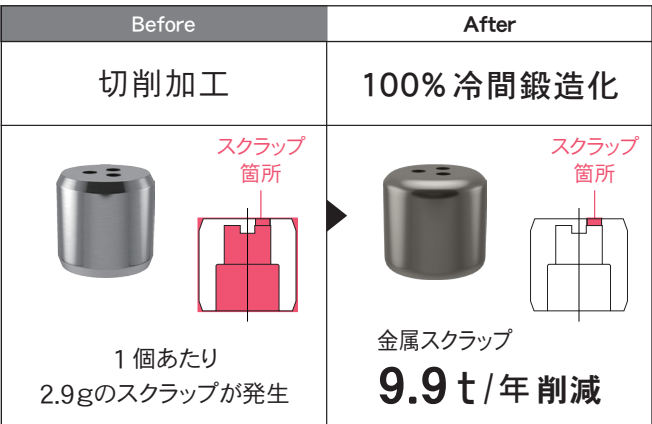
生産スピードの比較（段付きリベットの場合）

クリーン技術及び環境に配慮した技術の拡大

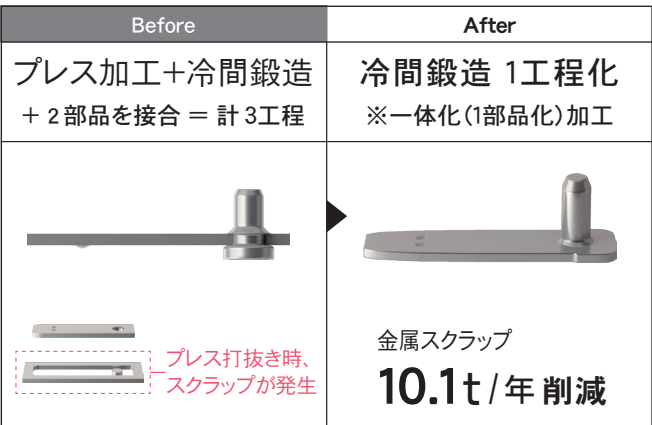
環境に優しいものづくり

新規顧客とのグローバルパートナーシップ関係強化により、脱切削部品（CO₂ の削減と原材料の有効利用）への展開を図る。

目標 社内目標値の達成



製造工法の見直しによる金属スクラップ（CO₂ 排出量）の削減

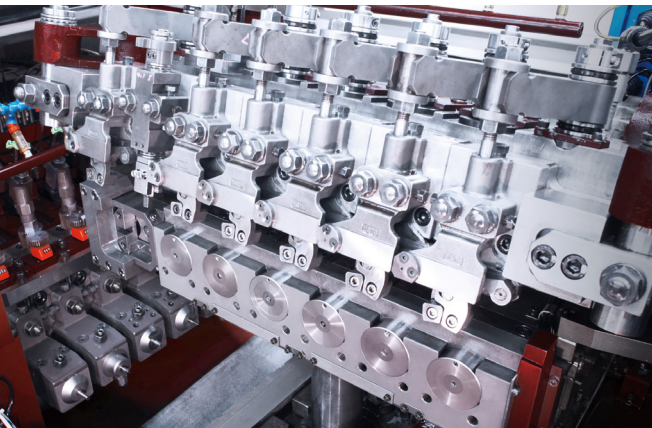


工程設計の見直しによる製造工程数と金属スクラップ（CO₂ 排出量）の削減

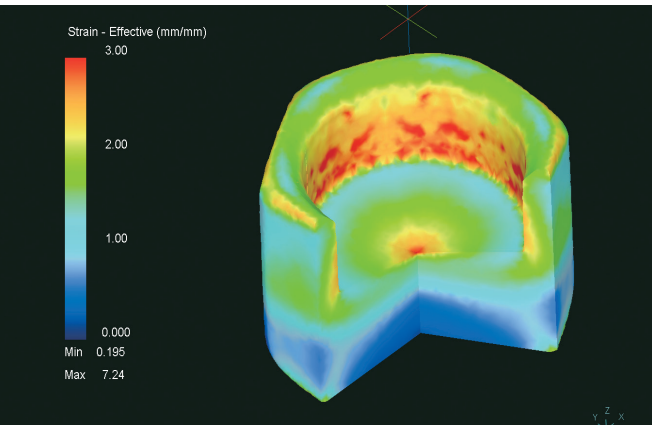
不良率低減による金属廃棄の低減

冷間鍛造の技術革新により不良率を低減し、金属廃棄量の低減につなげる。

目標 2030 年までに製品金属廃棄量 15%削減 ※ 2019 年度生産量比



冷間鍛造の技術革新による不良率低減



FEM 解析を活用した効率的な新製品開発

社員教育体制強化による社員のレベル UP

教育を通じて社員レベルの底上げを図り、高付加価値・高収益を達成し子供の未来応援基金へ寄付する。

- ・ 教育カリキュラムによる教育制度の構築およびレベル UP
- ・ 階層別教育の実施

目標 毎年、未来ある子供を
応援する基金への寄付実現



● ウォーキングイベント

10月にウォーキングイベントを開催。社員が歩いた距離の総合計(5万8千km)×10円で換算した58万円を寄付金として「北國愛のほほえみ基金」に贈呈しました。



● SDGs 社内研修 (Web 研修)

2、6、7月に、社員教育の一環として、役職者向けにSDGsに関する研修会を実施しました。今後は、一般社員向けの研修会を行う予定です。



小・中・高・大学生の工場見学受入れ

「ものづくり」への関心を持ってもらうことで、次世代を担う人材育成に寄与するために、小・中・高・大学生の工場見学を受入れする。

目標 希望校の全校受入れ



● 工場見学の受入れ

工場見学の受入れを行いました。2022年度は、6校の学生の皆様にご来社いただきました。

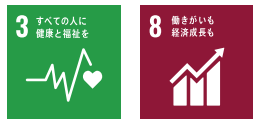


健康で働き続けられる職場環境づくり

健康で働き続けられる職場環境づくりのために、社員の健康保持活動、健康への配慮を行う。

- ・ 長期休暇制度の取得推進を図り、社員のリフレッシュを促すと共に年次有休5日取得の義務を果たす。
- ・ 勤務間インターバル(10時間)の導入を図る
- ・ 男性社員の育児休業の促進を図る 等

目標 ・ 年次有休取得率のUP
・ くるみんマークの取得



● 有給休暇取得率の向上

有給休暇取得申請の利便性の向上を図り、取得しやすい環境整備を行いました。

年次有給休暇及び長期休暇取得率の推移

年度	2020	2021	2022
年有休取得率	56%	58%	65%
長期休暇取得率	63%	70%	75%

※ 2020年度はコロナ禍による休業対応のため取得率は減少。

● 男性の育児休業取得推進

2022年育児介護休業法改正に伴い、育児休業関連制度の研修を動画で受講できるよう環境整備を行いました。

育児休業取得率の推移

年度	2020	2021	2022
男性取得率	38%	54%	40%
女性取得率	100%	100%	100%

全社員の豊かさを向上

技術開発企業を目指し、高付加価値、高収益を達成することにより、全社員の豊かさを向上させる。

目標 全社員の人事面談により、
社員満足度をUPさせる



● 人事面談の実施

社員満足度の向上のため、年間を通して計画的に人事面談を実施しています。

人事面談実績

年度	2021年	2022年
面談人数	153人	167人

● 保養所の設置

新型コロナウイルス感染予防のため、行動制限が余儀なくされる中、社員のストレスを少しでも軽減するため、2021年6月より、社員とその家族が近隣の温泉施設を「保養所」として割安で利用できる制度を構築しました。

保養所利用者実績

年度	2021年	2022年
保養所利用者人数	166人	356人

ジェンダー平等の実現

ジェンダー平等の実現のため、下記 2 点を推進する。

- ・ 技術職、機械オペレーターでの女性社員採用
- ・ 性別に関係ない能力による役職者登用

目標 職務範囲を拡大の上、
職場環境を整備し配属する



開発職、機械オペレーターでの女性社員採用

年度	2020	2021	2022
人数	0 人	1 人	1 人



性別に関係ない能力による役職者登用

リーダー以上の役割を担う女性社員は年々増加傾向にあります。リーダーは、担当ユニットのメンバーをまとめ、将来の役職者候補として評価や面談を行います。

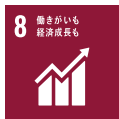
女性役職者数の推移

年度	2020	2021	2022
人数	8 人	10 人	12 人
割合	7.6%	9.0%	10.2%

地域雇用にて貢献

現地生産体制の強化を図ると共に、地域からの雇用を促進し、地域に貢献する。

目標 事業所（福井県、石川県）での
継続採用

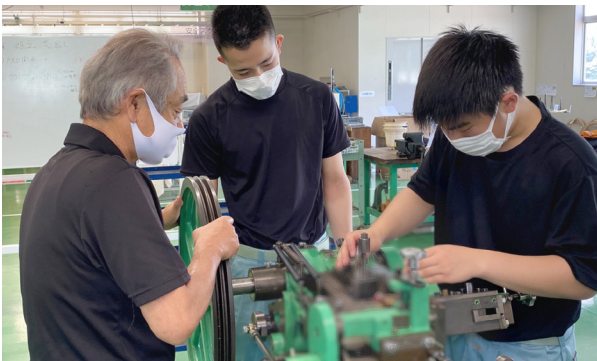


地元地域からの積極採用

新卒及び中途採用において、事業所のある福井・石川県より積極的に採用しています。また、地元中学校の職場体験も受入れています。

地元地域からの採用者数の推移

年度	2020	2021	2022
福井県	7 人	7 人	22 人
石川県	1 人	5 人	3 人
合計	8 人	12 人	25 人



SDGs 関連活動

海と渚のクリーンアップ活動

6 月 5 日、福井県漁業協同組合連合会主催の清掃活動「海と渚のクリーンアップ活動」に参加しました。



オリジナルエコバッグ

SDGs 関連の社内行事に参加いただいた方へのノベルティとして作成し、配布しました。



テレビ取材「エコむすび」

「企業が取組むゼロカーボン」をテーマに、自家消費型の太陽光発電の導入経緯や効果をお話しました。



あわら市脱炭素交流会への参加

当社の SDGs および脱炭素に関する取組みをプレゼンし、皆さまに理解を深めていただきました。



FBT SDGs 活動

フクイビョウタイランドは、ラヨン川の河口にある自然保護施設でカニの放流と海岸清掃を行いました。



「DBJ 環境格付」取得

3 月、株式会社日本政策投資銀行が実施する「DBJ 環境格付」を取得しました。



ZERO EMISSION

福井鋌螺 環境への重点活動テーマ

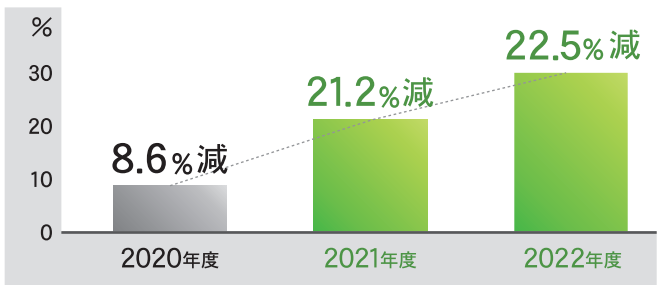
当社は、環境に対するSDGsのゴールにつなげるための具体的な活動目標として、経営方針（環境方針）の中に4つの「重点活動テーマ」を掲げ、事業活動全体を通して2030年までの目標達成を目指しています。また、2021年実績を元に目標値の見直しを行いました。特に、CO₂排出について「2030年までにカーボンニュートラルを目指す」に改訂し、地球温暖化防止を図っていきます。



環境への重点活動テーマ（SDGs 取組み）～達成期限：2030 年迄～

CO₂ 排出率

（2013 年売上原単位比）



（原単位：t-CO₂ / 売上）

	2013	2020	2021	2022
原単位	0.89	0.81	0.70	0.69
2013年比	—	-8.6%	-21.2%	-22.5%

※ CO₂ 排出係数＝0.497kg - CO₂ で算出（北陸電力様：2019 年排出係数引用）

2022 年度 CO₂ 削減取組み事例

太陽光発電設備を導入（加賀工場）

脱炭素社会の実現に向けた温室効果ガス排出量削減への取組みの一環として、北陸電力ビズ・エナジーソリューション株式会社との契約（※PPAモデル）を締結し、加賀工場（石川県加賀市）に、第2弾となる太陽光発電設備を設置。2022年2月1日より運用を開始しました。

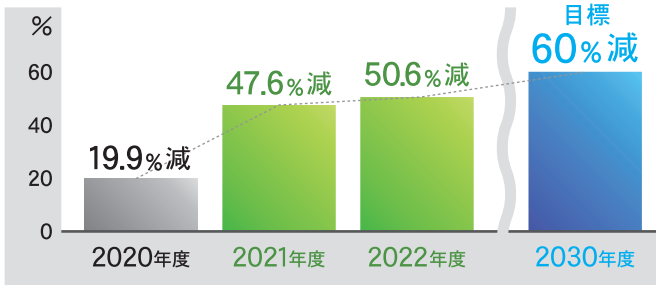
※ PPA(Power Purchase Agreement)＝自家消費型 太陽光電力供給契約



加賀工場

産業廃棄物廃棄率 60%減

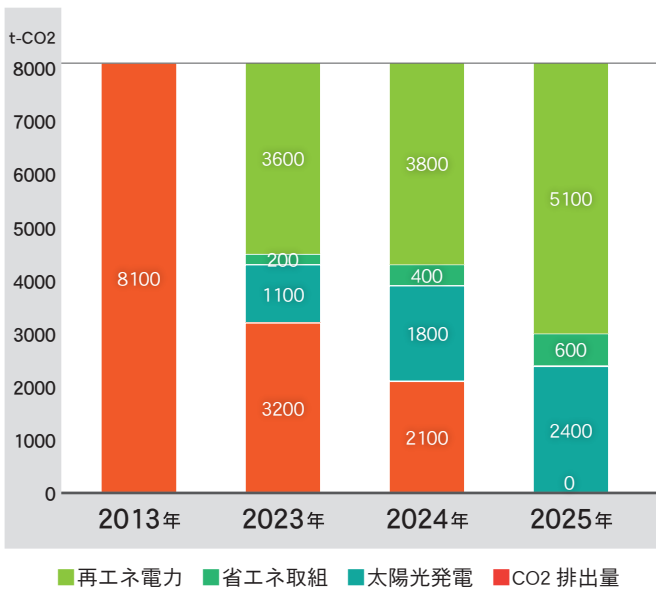
（2013 年売上原単位比）



（原単位：kg / 売上）

	2013	2020	2021	2022
原単位	61.6	49.6	33.0	30.4
2013年比	—	-19.9%	-47.6%	-50.6%

カーボンニュートラルへのロードマップ



中期目標：2013年度比カーボンニュートラル

太陽光発電設備の増設、省エネ取組みを中心に、CO₂排出量削減を進め、2025年迄に、2013年度CO₂排出分（8100トン分）のカーボンニュートラルを達成する計画です。また、2023年度より再生エネルギー由来電力「かがやきグリーン」を細呂木事業所に導入予定。2024年に片山津工場、2025年に加賀工場へ順次展開を図る予定です。

改正省エネ法の事業者クラス分け評価制度 8年連続「Sランク」評価獲得

当社は、経済産業省 資源エネルギー庁が定める改正省エネ法の事業者クラス分け評価制度で 8年連続「Sクラス」評価をいただきました。

事業者クラス分け評価制度とは？

省エネ法の定期報告を提出する全ての事業者をS・A・B・Cの4段階へクラス分けし、クラスに応じたメリハリのある対応を実施するための制度です。Sランクは省エネが優秀な事業者（目標達成事業者）で、5年平均原単位を年1%以上低減すること等が条件になります。9年連続Sランク評価をいただくよう、2023年度も引き続き省エネ活動を強化していきます。

標準 産業分類 中分類	特定 事業者 番号	主たる 事業所の 所在地	事業者等名 番号	省エネ評価							
				2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度
24 金属製品製造業	104751	福井県	福井鋸螺株式会社	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆

※「省エネ評価」欄：Sクラス評価に「☆」を記載

環境緊急事態発生ゼロの継続

(2020/4/6 ~ 2030/12/31)

環境緊急事態発生 2,000日間ゼロ を達成

2014年10月14日に発生した環境緊急事態を受け、環境重点活動テーマに「環境緊急事態発生2000日間ゼロ」を掲げ、環境予防処置等、様々な取組みの実施により、2020年4月6日に環境緊急事態発生2000日間ゼロを達成しました。2023年度も更なる継続的改善を推進し、環境緊急事態発生ゼロを継続しています。

(2022年12月31日時点=2,811日)

緊急事態対応訓練



NLサイト(訓練実施日:2022年11月2日)



細呂木サイト(訓練実施日:2022年11月7日)